

今回の分科会でご議論いただきたい主な点

平成30年7月31日

1. 技術イノベーションを推進するための取組について

技術イノベーションを推進していく観点から、それぞれの主体（国、大学、公的研究機関、大企業、ベンチャー企業、ファンド、等）がどのように取り組んでいくべきか。

（1）世界では様々なイノベーションエコシステムが誕生しているが、世界のこれからを見据え、10年後に向けて、今作るべきイノベーションエコシステムはどのようなものか。

（2）21世紀型の大学、国研等はどうあるべきか。（基礎研究、ベンチャー、実用化等）

（3）2050年の目指すべき社会像として、どのようなものを描くべきか。また、それを実現するために、どのような研究開発を行うべきか。

2. 国際標準化への取組について

技術の社会実装を通じたイノベーションの推進のために、標準化政策の果たすべき役割は何か。新たな国際ルール形成に向けて戦略的にルールインテリジェンス機能の強化、標準の普及、認証体制の整備を官民で連携し進めていくべきではないか。

3. 温室効果ガス排出削減・資源循環への取組について

地球温暖化・資源循環分野において世界の情勢が目まぐるしく動いている中で、環境への取組をコストではなくビジネスチャンスとして経済成長へとつなげていくことが肝要。

（1）2050年を見据えた「長期低排出発展戦略」を成長戦略として策定するに当たって、踏まえるべき視点や盛り込むべき要素は何か。また、G20の議長国としてどのような国家ビジョンを示していくべきか。

（2）「エネルギー基本計画」の閣議決定を受け、産業界が策定する2030年を見据えた低炭素社会実行計画の着実な実施を進めるために、踏まえるべき視点は何か。実行計画の不断の見直しを図っていくために官民でどのように進めて行くべきか。

（3）資源循環ビジネスについて、資源制約から脱却した強く安定的な産業構造への転換に向けて、将来像と方策をどのように考えるか。また、欧米の一部では使い捨てプラスチック製品の使用規制の動きも見られているが、我が国としてどのように対応していくべきか。